

目黒区家事育児サポーター利用費助成金交付申請書兼請求書 記入方法

《助成（請求）金額》
 プランニング・支援サービスの助成（請求）金額の合計を記入。
 ※お試しサポート、ベビーシッターでの利用は助成の対象になりません。
 ※助成を受けられるのは区と提携している家事育児サポーターに限ります。

1回の利用のうち、1時間未満の端数を切捨てた時間の合計を記入。
 (例)
 ◆実際の利用時間
 2.5時間+3.5時間=6時間
 ◆記入する時間
 2時間+3時間=5時間

対象のお子さんの保育サービス等の利用状況を記入。

利用者本人（お母さま）の氏名を記入。

申請者（利用者）と口座名義人が異なる場合に記入。
 利用者本人（お母さま）が署名。

申請書の裏面「支援サービス等利用証明書」を家事育児サポーターに記入してもらう必要があります。

別記第1号様式(第6条関係) (表面)
 目黒区長 宛て
 目黒区家事育児サポーター利用費助成金交付申請書兼請求書
 目黒区家事育児サポーター利用費助成事業実施要綱第6条の規定に基づき、次のとおり助成金の交付を申請します。

請求金額	11,000 円	利用した家事育児サポーター	〇〇 〇〇
《請求金額内訳》			
・プランニング			
〇年 〇月 〇日	1,000 円		
・支援サービス			
〇年〇月～ 〇年〇月分	(利用時間) 5 時間	1時間あたり (上限2,000円) 2,000 円	= 合計金額 10,000 円
計	5 時間	前回までの累計 0 時間	= 5 時間

利用金額ではなく、助成（請求）金額を記入。

多胎児の場合は、お子さん全員の氏名を記入。
 (例) 目黒 太郎・次郎

フリガナ	メグロ ハナコ	フリガナ	メグロ タロウ
申請者(利用者)氏名	目黒 花子	子ども氏名	目黒 太郎
生年月日	□年 〇月 〇日(〇歳)	生年月日	□年 〇月 〇日(〇歳)
住所	目黒区上目黒〇丁目□番△号 〇〇ハイツ201		
初めての お子さんですか	<input type="checkbox"/> 第一子 <input checked="" type="checkbox"/> 第二子以降	上のお子さん	生年月日 □年 〇月 〇日(〇歳)
保育サービス等の 利用状況	赤ちゃんが出生した時点で上のお子さんが3歳以上のご家庭にお尋ねします。 赤ちゃんが保育サービスまたベビーシッター等を利用する予定はありますか。		
	利用の有無	名称	利用期間
	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	〇△保育園	〇年〇月～〇年〇月
振込先 金融機関名	〇〇	銀行 信用金庫 信用組合	△△ 本店 店番号 支店 1 2 3 出張所
口座の種類	普通 当座	口座番号	1 2 3 4 5 6 7
フリガナ	メグロ イチロウ		
口座名義人	目黒 一郎		

※振込先の記載に誤りがあると、助成金を振り込むことができません。正確に記入してください。
 この申請の審査にあたり、目黒区が住民基本台帳及び家事育児サポーターへ利用状況、支払い状況等を確認することに同意します。
 なお、請求金額は、上記の口座に振り込んで下さい。
 □年 〇月 〇日
 目黒区長 宛て 申請者(利用者) 住 所 目黒区上目黒〇丁目□番△号 〇〇ハイツ201
 氏 名(自署) 目黒 花子
 電 話 〇〇〇-□□□□-△△△△

申請者と口座名義人が異なる場合は、下欄の委任状に記入が必要となります。
 私は、上記口座名義人に助成金受取を委任いたします。
 □年 〇月 〇日
 申請者(利用者) 氏 名(自署) 目黒 花子

- 助成金額は、支援サービス1時間(1時間未満は切捨て)につき上限2,000円。プランニングは、1回限り1,000円。
- 支援サービスは、出産の日から6か月以内の期間で、30時間(多胎出産の場合は、60時間)が限度です。
- プランニングは、産前の利用から助成対象です。
- 出産前に提出される場合または住民基本台帳による母子関係の確認ができない場合は、母子手帳の写しをご提出ください。
- 申請書の提出期限
 ・サービス利用最終日または上限時間に達した日から、**30日以内**にご申請ください。
 ・プランニングのみのご利用の場合は、出産の日または出産予定日から、半年以内にご提出ください。
- 区と提携している家事育児サポーターによる支援サービス、プランニングに限ります。お試しサポート、ベビーシッターは対象外。